

登録コード	E6204900	開講年度	2026				
授業科目	情緒障害教育総論					担当教員	奥村 真衣子
英文授業名	General Theory of Education for Children with Emotional Disorder					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生	教育学部24E生に限る
講義室	教育 E 2 0 1		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				情緒障害（主として場面緘黙）のある児童生徒を取り巻く課題を理解し、教師として児童生徒の学校生活上の課題を解決し、成長を支えられるよう、学び続ける姿勢を持つことができる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				情緒障害（主として場面緘黙）のある児童生徒の心理を理解し、学級における教育的対応および専門家と連携した治療的対応について説明することができる。 情緒障害（主として場面緘黙）の支援において、保護者の心理および保護者との連携の必要性について理解し、連携時の保護者の役割を説明することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業は講義と演習により展開する。主として場面緘黙の児童生徒の心理的・行動的特性、および、周囲との相互作用による困難の維持について、ワークシートや支援教材を通して実践的に理解するとともに、教育現場での実用を想定した具体的な支援方法の検討を行う。また、論文講読により、最新の研究について触れる。						
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス—本授業の進め方— 第 2 回：場面緘黙の心理—疫学・成因・行動論からの概念化— 第 3 回：場面緘黙の心理—克服過程とその影響因— 第 4 回：場面緘黙への支援—アセスメントの方法— 第 5 回：場面緘黙への支援—行動論的アプローチ— 第 6 回：場面緘黙への支援—青年期の不安症状への対処— 第 7 回：場面緘黙への支援—対人関係ゲーム— 第 8 回：論文講読—保護者心理— 第 9 回：論文講読—成績評価と入試における課題— 第10回：論文講読—小学校における実践— 第11回：論文講読—特別支援学校における実践— 第12回：論文講読—発話以外に見られる困難— 第13回：論文講読—専門家との連携— 第14回：まとめ—情緒障害教育の展望—，授業アンケート						
(6)成績評価の方法	演習課題への取り組み（50％）とレポート（50％）により総合的に判断する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可						
(7)成績評価の基準	「卓越している」：情緒障害に対する理解と支援について、達成目標に示した ～ のすべての項目の視点から検討している。 「かなり上にある」：情緒障害に対する理解と支援について、達成目標に示した ～ のうち2つの項目の視点から検討している。 「やや上にある」：情緒障害に対する理解と支援について、達成目標に示した ～ のいずれかの視点から検討している。 「水準にある」：情緒障害に対する理解と支援について、何らかの視点から検討している。						
(8)事前事後学習の内容	授業での学びを深めるために、臨床教育場面において、引っ込み思案な子、おしゃべりできない子、仲間の輪に入れない子、不安が強い子の様子にも意識しておくこと。また、論文講読では、事前に論文を読んだ上で、授業で発表・ディスカッションを行います。 この授業は90時間の学習を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	特になし						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	奥村研究室（東校舎2階） Tel: 026-238-4206 E-mail: maio@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	指定しない						
【参考文献】	・マクホルム著/河井英子訳（2007）「場面緘黙児への支援：学校で話せない子を助けるために」田研出版 2,200円 ・かんもくネット著(2008)「場面緘黙Q&A—幼稚園や学校でおしゃべりできない子どもたち」学苑社 2,090円 ・リンジー・バーグマン著/園山繁樹監訳（2018）「場面緘黙の子どもの治療マニュアル—統合的行動アプローチ」二瓶社 1,980円 ・エイミー・コトルバ著/丹明彦監訳（2019）「場面緘黙の子どものアセスメントと支援—心理師・教師・保護者のためのガイドブッカー」遠見書房 3,080円						

【参考文献】	・園山繁樹（2022）「幼稚園や学校で話せない子どものための場面緘黙支援入門」学苑社 1,760円
--------	---